

日本語指導の手引き③

-教科学習につながる教材と指導方法-

三重県教育委員会

はじめに

平成 21 年 9 月 1 日現在、県内の公立小中学校に在籍する日本語指導が必要な外国人児童生徒の数は 1,538 人であり、前年度より 52 人増加しました。また、日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍する学校数は 193 校となり、当該児童生徒が 5 人以下の在籍の学校は在籍校中の約 66%となっています。このような状況のもと、各学校においては、日本語で学ぶ力を身につけるための指導や学校生活に適應するための指導に加え、発達段階や文化のちがいに配慮し、個別に対応し効果的に指導できるよう工夫していくことが必要になってきています。

そこで、県教育委員会では、平成 19 年度から、受け入れ時から日本語による学習言語の習得までを見通した指導が各学校で効果的に行われるよう、県内で広く使用されている日本語指導教材「みえこさんのほんご」シリーズ等をもとに、教師向けの日本語指導の手引きを 4 期に分けて作成しています。

平成 19 年度は、「日本語指導の手引き①－受け入れにあたって－」を作成・配付し、各学校の受入体制等のさらなる充実をはかりました。平成 20 年度は、初期適應時の日本語指導を進めるにあたっての必要な取組や配慮事項、日常的に使う話し言葉の指導とひらがな・カタカナの指導について取りあげ、日本語指導を必要とする外国人児童生徒への指導に役立つ手引きとして、「日本語指導の手引き②－初期適應時の日本語指導と教材－」を作成・配付しました。

本年度については、第 3 期「教科学習につながる教材と指導方法」として、教科等の学習の視点や必要な取組、配慮事項について取り上げました。また、外国人児童生徒への取り出し指導等で行われている具体的な教材や指導方法例、教科等の学習を支援する取組例を紹介しています。

外国人児童生徒の学習の実態に応じて、本手引きをご活用ください。また、県内のどの学校においても日本語指導が必要な子どもを受け入れ、多文化共生の視点に立ち、効果的な日本語指導や教科指導等が実践できるよう、本手引きを研修や実践交流会の場でも積極的に活用いただきたいと思います。

平成 22 年 3 月
三重県教育委員会

目 次

はじめに

1 教科学習につながる外国人児童生徒の指導について

- 教科等の学習の視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 教科等の学習指導に必要な取組や配慮・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 具体的な教材や指導方法例

- 具体的な教材や指導方法例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 日本語指導カリキュラム表・日本語学習指導案（伊賀市立上野東小学校）・・ 4
- 漢字練習用プリント（読み）（伊賀市立上野東小学校）・・・・・・・・・・ 2 8
- 漢字練習用プリント（書き）（四日市市初期適応指導教室「いずみ」）*1・・ 3 9
- 算数指導カリキュラム・算数のあゆみ（四日市市初期適応指導教室「いずみ」）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 3

3 外国人児童生徒の教科等の学習を支援する取組例

- 外国人児童生徒の教科等の学習を支援する取組例・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 1
- おはようカード（鈴鹿市立桜島小学校）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 2
- 教科名一覧表（四日市市初期適応指導教室「いずみ」）・・・・・・・・・・ 7 3
- 連絡ノート（伊賀市立上野東小学校）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 4
- 在籍学級での取組例
 - ・ 「母語は親子をつなぐ大切な言葉」（津市立白塚小学校）・・・・・・・・・・ 7 5
 - ・ 「支える子どもたち」（津市立千里ヶ丘小学校）・・・・・・・・・・ 7 6
- 音読カード（鈴鹿市立桜島小学校、四日市市立笹川東小学校）・・・・・・・・ 7 7
- 九九カード・九九プリント（鈴鹿市立桜島小学校、伊賀市立上野東小学校）
・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 9

* 1 四日市市教育委員会ホームページに掲載されています。
ホームページアドレス (<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/kyouiku/>)